

2024年度事業計画

2024年1月1日から、2024年12月31日まで

—江戸城全体整備計画の策定を目指して—

学術調査研究による世界的評価に資する「江戸城全体整備計画の策定」は、事業と運動にとって、無くてはならない手掛かりとなるものです。

調査研究の成果は、広く社会一般に公開すると共に、行政や関係機関への提言活動を推進して参ります。これにより文化芸術の振興及び歴史文化資源を活かした観光まちづくりによる地域社会の健全な発展に、貢献をして参ります。

I. 調査・研究活動

1. 準備プロジェクトを設置

- ・目的：江戸城全体整備計画の策定する調査研究委員会の設置に向けて、準備プロジェクトを設置し、諮問内容及び委員会設置等の概要を作成する。
- ・参考資料：江戸東京歴史文化回廊・調査研究報告書、会報誌等
- ・メンバー：財団役員及び有識者等
- ・場 所：財団事務局等
- ・開催月とテーマ：6月—これまでの取組とその経緯
8月—課題の抽出及び優先順位
10月—課題とステージ
12月諮問内容、委員会規程等の概要の作成
- ・その他

2. 歴史文化資源等、プラットフォーム

調査研究の成果に基づき、これまでに、600近くの歴史建造物・文化財から抜粋してホームページに掲載してきた。コロナ禍の中、数年、活動は停滞した。

歴史的建造物、史跡、祭り、年中行事、伝統文化、水辺の賑わい等の多様な文化資源とそれらに関与する主体について、一元的にアナログやデジタルでの活用を目指し、順次、情報収集を行なう等、地道な取り組みを推進する。

II. 普及・啓発、提言活動

1. 普及・啓発活動

普及・啓発・提言活動の全体像は、会員、市民と有識者、まちづくり等、関係機関とのコミュニケーションやセミナーを軸にした活動を進め、会報誌やホームページを通し広く社会一般に公開する。

1) 有識者の講演・セミナー等（オンライン）

江戸城総構え、御殿の意匠、まちづくり等、江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりの観点からテーマを選定する。開催予定は次の通り、詳細はホームページに掲載する。

- ・場所（通年）：日比谷図書文化館（予定）、オンライン
- ・対象者と参加費：会員及び一般市民、参加費（2千円～3千円）市民、学生等無償先着各3名迄

1. 5月：江戸城全体を俯瞰する
2. 6月：皇居東御苑 天守台・石垣の建築とその経緯
3. 7月：本丸御殿の意匠
4. 9月：川越のまちづくりから、総構え江戸城を展望する
5. 10月：江戸の街の賑わい・絵巻 稀代照覧
6. 11月：江戸と加賀の往来文化・江戸三度

2) 会報誌やリーフレット等の発刊（年4回前後）及びホームページへの掲載

本年度の特別企画は、新会長及び新理事長の就任に伴い、「よみがえれ 江戸城」をテーマに、これ迄の歩みから現在へ、そして、近未来を展望する二人の対談形式とする、

2. 提言活動

関連する行政及び民間への提言及びコミュニケーション活動にとりくむ

東京都に対して、文化財保護法の中核である「大綱」の策定について、引き続き、提言活動を行う。また、文化財保護法の主管か所である文化庁に対しては、「東京都に対し、「大綱」を速やかに策定するよう働き掛けを行って戴きたい。」旨を要請する。

引き続き、関連する行政及び民間へのコミュニケーションや提言活動を適宜、推進する。

以上